



「場」の持つ力ー共生ホーム 『COMMON 吉方温泉』



秋号
2014 vol.002

発行 いくのさん家
住所 鳥取市湖山町西
2丁目 237-2
TEL 0857-37-3727
印刷 Studio-E

公式ツイッター
@ikunosange

私が生まれ育った町、埼玉県川越市にはかつて映画館が三軒あったが、今では一軒を残すのみとなっている。路地裏にひっそり佇む古くて小さな映画館、「スカラ座」がそれである。

このスカラ座、実は一度閉館しており、それを再生させたのは他でもない住人だった。車で20分も走れば大型スーパーに併設された立派な映画館があるというのに、それでも住人はスカラ座再生の寄付を募った。目標額はすぐに達成。それは川越の住人みんながスカラ座を必要とした結果であった。

川越の住人が守ったもの、それは映画そのものよりもスカラ座という「場」であった。銭湯、喫茶店、映画館・・・住人同士をゆるやかに繋いでいた憩い場が、時代と共に姿を消す今、その最後の砦がスカラ座だった。住人達は知っていたのだ。これからの時代を生きぬくためには、住人同士が集い、互いの今を知り合える、そんな「場」こそ必要なのだと。

鳥取市のスカラ座・・・ではないが、現在いくのさん家でもそうした「場」の再生に取り組んでいる。『COMMON 吉方温泉』もその一つ。町

フェヤ野菜市、紙芝居に音楽会・・・さまざまなイベントや介護予防サロンを行ない、住人同士が寄り合う機会を図っている。願わくは誰もが集い語らい寛げる、そんな縁側のような「場」になれたらいい。この町に住む人たちが、いつしか老いを迎えた時に「大丈夫。この町にはここがあるから大丈夫」、そう思える場所になれたらいい。

ある冬の早朝のことである。一人暮らしのTさんが『COMMON 吉方温泉』の玄関先で体を縮こまらせて待っていた。出勤した職員が驚き事情を伺うと、昨日家の鍵を失くしてしまっって一晩納屋で寒さを凌ぎ、日の出を待って来たと言う。憔悴しながら「ここに来ればなんとかなるわね・・・。」そう言って、精一杯に笑ってみせた。

今必要なのは、これからの老いに必要なのは、こうした「場」を築いていくことに他ならない。

(西堀慶)

ほかふわの手作りです♪



いくのさん家の玉子焼き

大郷
いくのさん家

小規模多機能型居宅介護
大郷いくのさん家

鳥取市松原 112 番地 1
TEL 54-6161 (FAX 兼)

吉岡温泉に共生ホーム「たばこ屋」ができました。遊びに来てください。



小規模多機能型居宅介護 グループホーム
いくのさん家 **いくのさん家**

鳥取市湖山町西 2 丁目 237 番地 2
TEL 37-3727 FAX 37-3728

ちょこっと畑に興味のある人・畑を手伝ってくれる人募集中!



岡村澄子さん

おやつの時間 第二回

～ 岡村さんと水垣さん (後篇) ～



水垣早苗さん



(前篇のあらすじ)

いくのさん家のご利用者の岡村澄子さんと、ボランティアでご支援いただいている水垣早苗さんに、いくのさん家と関わるキッカケやこれまでの振り返っていただきました。

それぞれの思いや心意気なども垣間見え、職員に対してもよく観察しておられます。職員に対しては冷や汗の流れるご意見もある中、温かい目で見えていただいていることも伝わってきます。いくのさん家の最近の取り組みを、半分合格で当たり前、それでもチャレンジを、と応援して頂いているようです。

竹本 それでは、岡村さんにお訊きしますが、岡村さんの近い将来の夢はなんですか？

岡村さん ここ(吉方温泉)をこれからも続けて、もつと良くしてほしい。竹本 今に満足をしたらやることなくありますもんね。水垣さん なんとかしなきゃ、が仕事よね。

岡村さん 満足なんてしないよ。なんでも中途半端なんだよね。例えば、私の描き貯めた絵のことなんだけど。竹本 自宅でもつと展示会をするとか？

岡村さん 今はそれもしないし。家にあったのがなくなったり、人にあげたり。水垣さん ここ(吉方温泉)で展示してもらおうとか。

竹本 岡村さんは今も書道教室に通っているんですね。水垣さん すごい！

岡村さん そう、人にあげるとなくなる。自分の自由にならない。水垣さん 絵を教えて！

岡村さん (嬉しそうに)とにかくちゃんと対象を見て描くことだよ。



竹本 さて、「いくのさん家」はこれらどこ向かったらよいと思えますか？

岡村さん 公平に皆のために頑張つて。自然なままにね。

水垣さん 私は今の自分に合うから、ここに来たいと思うだけ。

岡村さん 水垣さんね、この前、笹いっぱい持ってきてくれた。私きれいに枯れないように整理整理。

竹本 それはそれは(笑) 岡村さん 夜遅くまでやったのよ。先のこと(ちまき作りイベント)まで考えて。

竹本 岡村さんね、せっかくだから本場に仕事としてお金ももらったらいいかですか？

岡村さん お金儲けはいい。でも決まったらちゃんとやらなきゃ。なんでもチームワークで実行せんと。

水垣さん そういうのが嫌いな人もいるから人によって違うよ。

岡村さん でもそんなこといったら何もできないよ！

竹本・・・。水垣さん 歳をとると、皆ガンコよね。他の事もいろいろ。



場 所：common 吉方温泉
ゲスト：いくのさん家ご利用者…岡村澄子さん
ボランティア……………水垣早苗さん
聴き手：いくのさん家……………竹本匡吾

竹本 元気の秘訣はなんですか。岡村さん しんどいことはあるよ。自分にはっきりせい！って言って、しんどかったこと忘れて切り替えるの。家族がいないから常に自分自身で考える。

水垣さん 決めた仕事はきちんとやる。その次はお稽古ごとの趣味をする。できることは自分でやって、お世話にならない様にかく動く。こもらない。

竹本 よく話すことです。最初はスタッフ⇓中核職員⇓ボランティア⇓いつの間にか自分で気づかないうちにお世話になる。こうなれば、いつまでもメンバーは変わらないかなと思ったり(笑)。

水垣さん 私は85歳まで生きると決めているの。なぜなら親が83歳まで生きていたから。それ以上になったらわからない。でもそれまでは社会の中にいてどこにでも出掛けて行く。私が化粧しなくなったら、「おかしい」って思っつね。

竹本 ありがたいごさいました。とても有意義な時間をいただきました。



デイサービスセンター
いくのさん家
鳥取市行徳3丁目732番地
TEL 23-6622 (FAX 兼)

将棋・囲碁の相手募集中。将棋・囲碁が好きなら誰でもOKです！



小規模多機能型居宅介護
木守舎
鳥取市行徳2丁目429番地
TEL 24-0303 (FAX 兼)

阿部珈琲(株)さんとのコラボ商品「木守舎ブレンド」。近日発売です。



コラム



「らもんずー」

町歩きのススめ

近頃、「地域」という言葉を耳にする。ところがこの「地域」という言葉がよく分からずに困っている。生まれ育った地元のことならよく分かる。けれども「職場」の「福祉」の、「地域」となった途端に思考は停止。身近な「地域」が何百光年ずつと先、宇宙の彼方に思えてしまうのはなぜだろう。

とにかく職場の「地域」を知るために、働く場所が宇宙でないことを知るために、いくのさん家の仲間4人と「らもんずー」なるものを結成し、職場周辺の「地域」をぶらぶら歩くことから始めてみた。(ちなみに「らもんずー」の名前の由来は、作家の中島らもとパンクバンドのRAMONESにあやかって。酩酊気分とパンク精神を身上

に町をぶらぶらさまよい歩く。何事も気分が大事なのである。) いやはやこれが楽しかったのだ。行徳の町はとっても刺激に満ちていた。一本路地に入ると何かしらの出会いがあつて・・・そう、すっかり町歩き、「地域」の魅力にはまってしまったのである。(そんな町歩きの様子は『らもんずー がゆく。』の冊子にて。定価200円。100部限定なのでお早めに！)

道中にはサカモトさん(88歳)との出会いもあった。路地を歩いていった時に、家の窓からひよいと顔を出されたのが縁の始まり。「こんにちは」の挨拶から始まって、生い立ちや仕事の話、亡き奥さん



との馴れ初めに至るまで、サカモトさんのこれまでをたくさん聞いた。33年前に最愛の奥さんを亡くされた後、ずっと一人暮らしのサカモトさん。肺気腫を患って10年あまり。片時も酸素ボンベは手離せない。別れ際、「やっぱり夜は寂しいけどな・・・。」そうポツリと呟いた。(サカモトさんとは今も付き合いが続いている。早番終わりの夕方や夜勤明けの昼前に、らもんずーメンバーがちよくちよく会いに出掛けては世間話を二言三言。「じゃあ、また。身体に気をつけて。」行徳いくのさん家から歩いて3分。サカモトさんに何かあったら駆けつけられる。仕事とは全く関係のない近所づきあい。それがいい。これも町歩きの賜物だ。)

町を歩くこと、それは働く現場が宇宙の片隅でないことを確認すること。現場がシェルターでないことを証明すること。百歩譲って、たとえ宇宙だとしても(思われても)それなりに楽しく過ごせる場所を見つけないこと。空を見ること。空を浴びること。空気に触れるこ

と。地面を踏むこと。匂いをかぐこと。人と繋がること。会話をすること。暮らすということ。それらが幾つも重なり合って、初めて「地域」の輪郭が現れる。

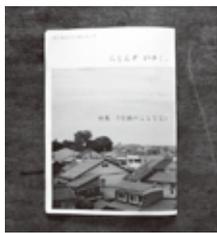
そう、いま町歩き、らもんずーが面白い。

(らもんずーメンバー ポリビッシユ)



すてきな フーさん。

作・画 1894-19



『らもんずー がゆく。』
好評発売中！
定価 200円 100部限定！！



いくのさん家
居宅介護支援事業所
鳥取市吉方温泉1丁目252番地1
TEL 30-7881 FAX 30-7882

介護ワンストップ相談。介護のことなら何でもご相談ください。



デイサービス
吉方温泉いくのさん家
鳥取市吉方温泉1丁目406番地
TEL 30-6565 (FAX 兼)

12月餅つき大会を開催。体力のある、つき手さん募集中！詳しくは上記までお問い合わせください。

なやた 那由他の人たち

下田 学さん

介護職員（送迎専門）

「何話せばいいの？」はにかんだ笑顔で下田さんが、送迎車から降りてきた。

下田さんは、いくのさん家のまさに「生き字引」気がつけば、最長勤務の職員さんである。

もともと「いくのさん家」の名前の由来となった方（幾野さん）のご縁でこの仕事をするようになったんだ。

最初、ボランティアのつもりで始めたんだけどね。18年も続いたのは、自分は一入もので7年間父の介護をしてたから興味もあつたんだろうな。

この仕事は慈善でもないし、かといって慈愛の心もないとね。でもやっているうちに「生きがい」っていうか、自分のためになつてるといふか。

そういえば利用者さんの家にご飯をつくりに行ったこともあつたなあ。訪問すると追い返されるのもちろんのこと、ものすごく怒るから他の職員が怖がっちゃって、



自分がいくことになつたんだ。

戸口でそーっと家の中の様子をうかがっている、ご本人が外に出てきて、ホウキで車をボコボコにされたこともあつたなあぶないなと感じて、包丁やはさみを隠してからサービスを始めたり。それほど他人を家に入れてくたかたつたんだね。きつと。料理？仕事ではその時くらいだったかな。

いくのさん家は、各管理者の目がそれぞれ独特のものがあるよね。それもよいかなと思う。それぞれの家庭の要望に対応していくのは大変なことだと思っけど、これからはもっと、介護は自らの事としてみんなに仕事をしてほしいと思う。

怒らないって？昔、車の教習所の教官している時は違つたよ。時と場合だね。今は、ほんの車中のことだから、なるべく穏やかに安全に過ごしてもらいたいと思つてる。気分転換は、ジムで汗を流すことかな。腰痛がきつかけでジムに通いだしてね。

～なんでも、体脂肪が13～15%とか、自慢の力をぶを拜見！



新聞配達のお仕事でも見守りの役割をされている。優しい情報源の下田さん。

「この車（日産キャラバン）が引退の時に俺も引退かな」また、はにかんだ笑顔。これからもまだまだ一緒にですよ。

※那由他（なやた）：元仏教用語で「極めて大きな数量」サンスクリット語「無限」の意味。無限大に近い数字で、宇宙とか星とか、そういう届きそうで届かない壮大な雰囲気がありますか？それなのに響きは優しい感じ。そんな「那由他」な人たちとこれからもつながっていききたいなあって思うのです。

いこみき 喫茶

喫茶「きよみ」ーOさんへ捧ぐ

Oさん。Oさん行きつけの喫茶店「きよみ」に行ってきたよ。Oさんがそうであつたように、モーニングを注文した。そうしたら、なんともまあ素敵なモーニングー正直Oさんにはもつたないよ…。

「きよみ」のママにOさんのこと話したら、「嬉しいねえ、嬉しいねえ」で、ずっと言つてた。ちゃんと憶えていたよ。そうそう、一つ悲しい知らせが…。「きよみ」ね、9月から店内禁煙になつたんだって。次のお盆どうするよ？あの世から帰ってきてても「きよみ」には行けないよ。

どうするよ？
ねえ、どうする？



※己巳己巳（いこみき）：四字熟語「互いに似ているものた」とえ「文字もよく似ていて、見分けがつきにくいでしょ。」

編集後記



今回の「いくのさん家の玉子焼き」は「場の持つ力」について考えてみました。皆さんは、安心できる居心地のいい居場所がありますか？気心知れた仲間や家族だけでなく、「おかげ様・お互い様」が言い合える相手が多いほど、安心して暮らしているのではないのでしょうか。そんなキッカケづくりになる「場」をこれからも試行錯誤して地域の方々と育てていければと感じました。

次号は、吉岡温泉にできた共生ホーム「たばこ屋」ってなんだろうを説明します。ご期待ください!!

また、お読みいただいたご意見・ご感想、今後取り上げてほしい記事等ございましたら是非お聞かせください。

コトリ舎

特定非営利活動法人 コトリ舎

鳥取市吉方温泉 1丁目 252番地 1
TEL 30-6565 (FAX 兼)

朝サロンはじめました(^.^) 毎週金曜日 八時～十時
コーヒーにパン、ゆで卵がついて、ナント200円!
朝のスタートはCOMMON吉方温泉から!

グループリビング
かなで

グループリビング
かなで
鳥取市行徳 3丁目 734番地
TEL 21-7555 (FAX 兼)

11/8 (土) さつま芋を使ったお菓子教室。老若男女を問わず楽しんでいただけます。